

万博の歴史をたどろう

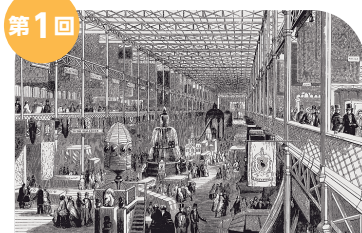
万国博覧会（万博）は、いつ、何をきっかけとして始まり、現在まで続いてきたのでしょうか。その歴史をたどってみましょう。

おもな万博

概要

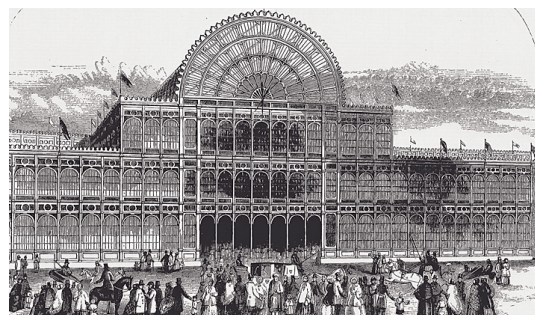
注目を集めた展示・技術

●1851年 イギリス ロンドン万博



世界初の万博は、当時のイギリス女王ヴィクトリアの夫アルバート公らが中心となって組織されました。会場の建物は当時最先端の鉄・ガラスの製造技術をいかしたもので、建物そのものが万博の目玉展示でした。

会期中には、のべ600万人以上の人が訪れ、大成功に終わりました。当時のイギリスの人口の3分の1が訪れた計算になります。



▲ガラスでできた会場は、水晶宮（クリスタル・パレス）と呼ばれました。火災により、現在は残っていません。

●1867年 フランス パリ万博



日本が初めて万博に出展したのは江戸時代終わりのパリ万博でしたが、政府として初めて公式に参加したのは、明治維新後のウィーン万博でした。

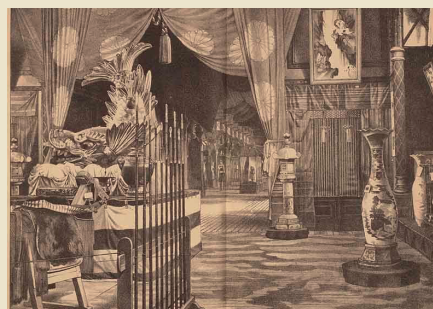
●1873年 オーストリア ウィーン万博



初の政府公式参加

長年、海外との交流を制限していた日本の文化は、欧米の人々に新鮮なものとして受け入れられました。万博での展示などがきっかけとなって、欧米では「ジャポニズム」という日本文化ブームが起こりました。

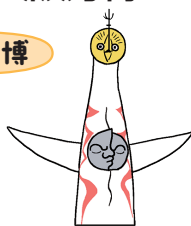
ウィーン万博での日本館のようす



名古屋城から運んできた金鯱や、伝統工芸品が展示されました。金鯱は大変な人気を集めました。

●1970年 大阪万博

日本初の万博



日本で最初に開催された万博は、大阪万博でした。「人類の進歩と調和」をテーマとして、高度経済成長期にあった日本で多くの新技術が紹介されたことで、それらが普及するきっかけとなりました。

●1975年 沖縄海洋博

●1985年 つくば科学万博

(茨城県)

●1990年 花の万博

(大阪府)

●2005年 愛知万博

1970年の大阪万博の後も、1990年までに日本では3度の博覧会が行われました。

2005年には愛知万博が開催され、「自然の叡智」をテーマとしました。万博では初めて「環境」を主なテーマとしたことが特徴でした。また、日本初のリニアモーターカーの営業が始まりました。

●大阪万博がきっかけで普及したもの



動く歩道



電気自動車



携帯電話



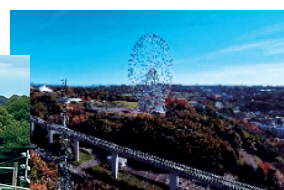
回転寿司

！調べよう

万博は、わたしたちの社会にどのような影響をあたえてきただろう。



▲リニアモーターカー



▲愛知万博の会場があった場所